



## 桜台中通信 No.9

校訓「自主・敬愛・健康」



令和3年10月1日発行 校長 池内容子

### ◎緊急事態宣言解除に伴う今後の対応について

この度の政府による宣言解除を受け、岸和田市教育委員会より本日（10/1）以降の地域感染レベルを「1」とし、引き続き十分な感染防止対策を講じながら、ほぼ日常の教育活動が可能であるとの見解が示されました。本校では、この指導（ガイドライン）に従い、以下のような対応を行います。

#### ① 基本的な感染防止対策は継続します。

検温・健康観察、マスクの着用、手洗い・消毒の指導、給食時の黙食、教室換気、3密を避ける。

#### ② 部活動を通常通り再開します。

ただし、飲食時の会話や更衣時に身体的距離を確保するよう指導します。

試合等での保護者の観覧等については、各クラブで確認してください。

#### ③ 行事等へのリスク回避のために、以下の感染防止対策は継続します。

・体育大会終了までは、「体操服登校（テスト日を除く）」を継続します。

・体育大会終了までは、「学年別時差下校」を継続します。

・全校集会、学年集会など、「生徒が集合する行事」はなるべく控えます。

#### ④ 発熱や体調の悪いときは登校を控えてください。また、登校後、発熱や体調不良の場合は、保護者に連絡をした上で速やかに下校させます。

※同居のご家族の発熱や体調不良でコロナ感染の疑いがある場合も、できるだけ生徒の登校を控えるようにお願いします。

※修学旅行や体育大会の際も、上記の対応をお願いします。

※同居のご家族の中で感染が確認された場合やPCR検査を受検して結果が判明するまでの間は、保健所や医師の指示に従っていただき、生徒の登校を控えるようにご協力ください。また、PCR検査を受検した場合は、必ず学校（426-0282）に連絡をください。土日休日で陽性が判明して連絡がつかない場合は、市役所（423-2121）に連絡をお願いします。

#### （実施予定の10月と11月上旬の行事）

10月4日（月） 3年 第3回学力診断テスト

10月14・15日（木・金） 中間テスト

10月17・18日（日・月） 3年 修学旅行（京都・滋賀・三重方面）

10月22日（金） 学年別体育大会（保護者参観1名まで）（予備25日（月））

11月5日（金） 3年 第4回学力診断テスト

11月6日（土） 午後 進路説明会

11月8日（月）～12日（金） 来て見てスクール

◎10月祭礼(だんじり曳行等)では、新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを防ぐために「マスク・手洗い・3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を防ぐを徹底してください。



◎生徒会活動 ゼロの日 9月30日は「ゴミゼロの日」に取り組みました。

毎朝、バレ部、バスケ部が正門からの坂道の桜の木の落ち葉をきれいに掃除してくれています。ありがとう！

### ◎人権教育の取り組み

3年生 9月10日より5時間かけて同和問題について学習しています。1回目は「バースディレストラン」を視聴して、部落差別による苦しい思いを抱えた人々のことを知りました。

1・2年生は 10月から男女共生教育でLGBTについて学習する予定です。



### ◎令和3年度 岸和田市文化祭(マトカホール)

習字作品展(10月6日午前10時～8日午後2時)

科学作品展(10月13日午前10時～15日午後2時)

図画・美術作品展(10月27日午前10時～29日午後2時)

作品が入選された生徒さんには、別途係より連絡させていただきます。

ご入場の際は、検温・消毒・氏名・連絡先の記入等ご協力をお願いします。

### ◎「失敗を失敗と捉えるな、経験と捉えろ」～バスケットボール選手 高田 真希さん～

東京オリンピックでバスケット日本勢初の銀メダル獲得に主将として貢献した高田真希さんの持論です。「バスケットボールはミスが付きものの競技。一番ダメなのは消極的になること。失敗ではなく経験。この経験をしたから今度はこうしてみよう。それもダメなら次も変える。一つの失敗に対して悩む時間が多いほど、うまくいかないものだと思います。自分も、パスミスとかあるんです。そこで一番ダメなのは、同じ過ちをすること。そうならないように違うことを試すと、自分の引き出しが増えることにもつながる。日常や学校生活でも、置き換える部分はたくさんあると思う。」といます。

緊急事態宣言が解除されて、できなかった様々な行事に取り組む10月。体育大会や合唱コンクールの練習が各クラスで始まると思います。特に3年生は最後の行事。悔いの残らないように取り組んでほしいです。

高田さんは続けます。「よく使う言葉に「自信」があります。字のごとく、自分を信じる。そのためには普段からやることをやらないと自信は生まれません、いざという時に力を発揮できない。自信をつけることを含めて、何かやるときは自信を持って取り組んで欲しいと思います。」

(朝日新聞 令和3年9月27日(月) 10代の君へ より抜粋)